

10人十色のお宅  
 完成しました Vol.23

C値 (相当隙間面積) = 0.4c m<sup>2</sup> / m<sup>2</sup>  
 Q値 (熱損失係数) = 1.73W / m<sup>2</sup> K  
 UA値 (外皮平均熱貫流率) = 0.34W / m<sup>2</sup> K



↑ こちらは身体に障害のある方が利用される施設です。内部は玄関から右側が大壁仕上げ、左側が柱が見える真壁仕上げとなっています。



↑ 玄関です。スロープで段差を解消し、玄関は4枚の引き違い戸で開口巾も広く、車椅子でも出入りしやすくなっています。



↑ 事務室です。来訪者にすぐ対応できるように、玄関のすぐ隣にあります。



↑ 多目的ホールです。大きな窓と板張りの勾配天井で開放感が増します。この施設から見える景色は、どの窓から見ても良好です。



↑ こちらは、洗面脱衣室と浴室です。写真には写っていませんが、手前にトイレもあります。毎日使用する場所なので動きやすいように建具で仕切られておらず、一体空間となっています。



↑ 住宅でいうLDKです。食事をしたり、くつろいだりするスペースです。施設内はどこへ行っても温度差が少ないため身体に負担がなく、利用する方にも安心してお使いいただけます。



↑



↑ この施設には個室が2室あり、そのうちの1室です。介助もしやすいよう、ゆったりした広さです。



↑ もうひとつの個室です。こちらは北側になりますが、大きな窓から一日中安定した明るさが得られます。

# 金子一弘の世界見聞録 第39巻



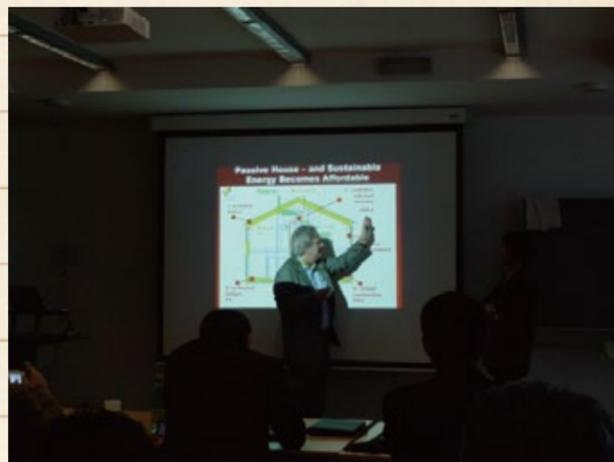
## インスブルック大学を訪問

この海外研修の目的であるパッシブハウス研究所との情報交流は、インスブルック大学での両教授の講演と情報交換である。朝9時には大学を訪問、現在、研究室が改修工事中の為、ランチルームで開催された。

始めに、日本側から鎌田教授が基調講演を行い、クーラー女史の通訳でドイツ語に、後半はファイスト教授の講演を小室氏が日本語に通訳する形式で進められた。昼過ぎまで続いた講義と情報交換は、双方の背景と目的が非常に類似し、共感する内容であった。また、次回は内容を掘り下げ、PHPP（パッシブハウスの計算ソフト）やQPEX（新住協の計算ソフト）のプログラムの流れや計算根拠等に議論が進む事を期待したい。



↑鎌田先生の講義



↑ファイスト先生の講義



↑講義と情報交換が終わり土産品の贈呈後の握手

鎌田先生は、日本の地理的条件や日本の省エネ基準、新住協の生い立ち、現在の活動の内容、QPEXのプログラムの説明等、限られた時間の中で解りやすく全般に亘り解説された。

ファイスト先生も、パッシブハウス研究所の生い立ちや研究所が取り組んでいる活動・研究テーマ、研究所の組織や運営、世界会議等の活動を説明された。双方が日本とドイツで共通する内容の多い取り組みを続けていることが理解でき、大変有意義な研修会になった。時差にも慣れ、参加者全員が真剣に聴講していた。また、質問も出て非常に友好的であった。次回は日本で開催することになる。

お知らせ  
イベントのご案内

**入場無料**      **雨天決行**

## 工場モデルフェア in 土岐

日時: 2017年11月11日(土)  
会場: TOTOウォッシュレットテクノ(株)土岐工場  
岐阜県土岐市泉町大富字北山1916-165

楽園住宅は上記のイベントに参加します。  
リフォームをお考えの方は、是非この機会にご来場下さい。  
他にも楽しいイベント盛りだくさんです。  
皆様お誘い合わせの上、遊びに来て下さい♪

## スタッフのご紹介

### 設計の 加藤 英明 (カウ ヒデアキ) です!

干支: 未年    星座: 魚座    趣味: 読書

楽園住宅に入社する前は宮大工をしていました。  
ここで設計の仕事をして始めて4年になりますが、  
これからも環境負荷の少ない家づくりに  
努めたいと思います。

## —ZETH (ゼツ) モデルハウスのご案内—

ぎふ性能表示材・ぎふ証明材を使った、  
高断熱技術と伝統的な土塗壁のハイブリット住宅です。

楽園住宅事務所・モデルハウス案内図  
【開館時間】10:00~17:00 ※臨時休館の場合もあります  
土塗り壁の蓄熱効果をぜひご体感下さい

## 楽園クイズ

11月23日の勤労感謝の日は  
以前何と呼ばれていた?

- ①新嘗祭
- ②神嘗祭
- ③天長節

☆答えは楽園住宅ホームページをご覧ください

楽園住宅

